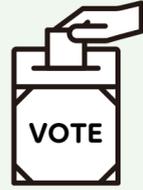


#選挙へ行こう

私たちの未来のために この一票を考える



選挙出前授業を都立目黒高校で実施しました

選挙管理委員会は、未来の主権者である生徒・児童の選挙への知識・関心を高めるため、学生団体ivote(15面参照)と協力して、区内の学校で選挙出前授業を行っています。

4月に選挙出前授業を受けた目黒高校の3年生に、選挙や投票について、どのように考えているかを聞きました。



図選挙管理委員会事務局 (☎5722-9299、☎5722-9334)

ただ投票に行こうよじゃなくて「考えよう」



中畑さん

選挙権があるということは、権利だから行くも行かないも自由です。だけど、選挙へ行く目的を、ただ投票率を上げるためと考えることは本来の目的とは違うと思います。自分が必要だと思う政策を考え、自分の意見を言う場であるから、意思を持って行かないと意味がないと思います。だから、単に選挙に行こうと呼び掛けるのではなく、理解してから行こうと伝えたいです。

若者のための政治をつくるために、一緒に行こう

投票率は世代別で出してしまうので、過去の選挙で他の世代と比べて投票率が低い私たち若者は、政治に興味・関心がないと思われて、どんどんシニア世代に対しての政治になってしまっているように思います。だから、私たち若者の政治をつくるため、何より自分のために、一緒に投票へ行きましょう。



井出さん

投票が自分と社会・コミュニティとの関わりの一つの証拠に



長谷川さん

選挙に行くことで、何かご褒美がもらえるわけではないけれど、社会から「あなたも社会の一員。だから一票をお願いします」という権利が与えられているのに、その権利を放棄したら後悔すると思います。一票を入れることで、「私も参加したよ」と社会との関わりを持つことができる、いい機会だと思います。

自分の未来は自分で決めたい

投票に行かないということは、自分の知らないところで、自分の未来が決まってしまうということにつながると思います。「自分が一票を投じていれば、自分の望んでいた政策が通ったのに」と後悔することになるので、自分の未来を自分で決めるために、一緒に投票へ行きましょう。



原さん

出前授業の様子

講義



選挙人名簿の確認



投票記載



模擬投票



Q 選挙クイズ!

出前授業で、選挙クイズに挑戦!



Q1 18歳以上のかたが、LINEやTwitterのメッセージで、友達に「今回の選挙は、〇〇さんに一票よろしくね」と送ってもいい?

Q2 17歳の高校生が、SNSなどで、他人の選挙運動メッセージを拡散してもいい?



A クイズの答え



A1 正解は「送ってもいい」

18歳以上の有権者は、LINE、Twitter、フェイスブック、ホームページ、ブログ、動画共有サイトYoutubeを利用して、選挙運動ができます。しかし、Eメール(ショートメッセージを含む)を利用した選挙運動は候補者や政党のみとされているため、禁止です。また、候補者から送られてきたEメールを転送することもできません。

A2 正解は「拡散してはいけない」

法律により、18歳未満のかたは選挙運動ができません。選挙運動メッセージを拡散することも選挙運動にあたりません。



vol.11

学生団体ivote代表に
わともひろ
丹羽智大さん

若者と政治の距離を近づける



プロフィール

愛知県出身。東京大学在学。若い世代の投票率の低さに問題意識を持っていたことなどをきっかけに、主権者教育に興味を持つ。大学入学後、学生団体ivoteに所属し、4年度の代表として活動中。

身近なことが政治につながっていく

ivoteは、「若者と政治の距離を近づける」ことを目標として活動する学生団体で、小・中学校、高校に向いて模擬選挙を行う出前授業やウェブサイトなどで啓発活動を行っている。4月に行われた目黒高校での出前授業では、主権者になる学生に、「自分の力だけではかなえられなかったことは、社会の制度を変えることでかなえられることがあります。主権者になるということは、その思いを届けられること」と、代表の丹羽さんは語る。出前授業では、ジェンダーについての講義も行い、高校生からは「ジェンダーは、私たちに身近なテーマでした。自分たちに直結したテーマを扱って



▲出前授業の様子



ivoteは、こちらからご覧になれます



くれる政治家が多ければ、若者も投票しやすい」といった声も聞かれた。丹羽さんは「投票に行っていきたいということではなく、身近なことに興味を持って、社会について考える人になってほしい」と思いを伝えていた。

学生と政治との距離の近さがivoteの強み

最近では選挙を身近に感じてもらうため、選挙日に合わせて特設サイトを開設。「特設サイトでは、大学生が関心を持ってくれるような政治トピックスをピックアップし、政治が身近にあることを発信しています。ivoteは、学生だけの団体なので、常に学生の視点で伝えることができます。学生が考えていることは、自分たちが一番知っています」と話す丹羽さん。学生との距離が近い団体だからこその強みを生かし、活動を続けている。

政治は頼れる一つの手段

共に活動しているメンバーの一人、黒澤さんは「コロナ禍で、大学へ行けなかったり、サークル活動の制限があったりした中で、ivoteの活動を通して、小・中学生、高校生と一緒に社会のことについて考えられることは、充実した日々につながっています」と話し、丹羽さんは「自分たちが知らない苦労があることを一つの視点として持って、政治、社会に興味を持つ若者が増えることを願っています。政治は頼れる一つの手段だということを伝えていきたい」と続けた。「若者と政治の距離を近づける」活動はこれからも、若い世代によって続いていく。



▲ivoteメンバーの黒澤さん

参議院議員選挙のお知らせ

碑住区センターの期日前投票所が変更になります

参議院議員選挙が7月に予定されています。期日前投票所のうち、碑住区センターは原町住区センター(右地図)に変更します。

原町住区センター

(南1-8-9)

東急目黒線
洗足駅から下車10分
東急バス
「原町交番前」から下車4分、
「碑文谷八幡前」から下車6分

